

令和2年度 指定管理業務 評価票

石川河川公園	【指定管理者】 都市公園石川河川公園指定管理共 同体	【指定期間】 平成30年4月1日 ~ 令和5年3月31日	【所管課】 富田林土木事務所 都市みどり課
--------	----------------------------------	---------------------------------	--------------------------

【管理状況(概観)】
 ○施設の設置目的に沿い、適切に公園を運営した。水上のアクティビティであるSUPイベントを新たに企画し、石川の自然を水面から体験するという水辺に親しむ公園としての新しい楽しみ方を提供した。
 ○施設の維持管理は概ね良好であった。園内の除草や、主要施設であるあすか花回廊の花壇管理に注力している。
 ○収益事業について、近隣のパークゴルフ協会に働きかけ、団体利用の誘致を実現したことに加えて、パークゴルフ用品販売を行うなど、利用促進に努めた。

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【石川河川公園】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
I 提案の履行状況に関する項目						
(1)施設の設置目的及び管理方針	管理に関する基本的な考え方に沿った管理運営が出来たか。	<p>【実績】</p> <p>◎人々のつながり(ライン)を生み出すための3つの管理目標を「eライン」として管理運営を行った。</p> <p>①「ecologyライン【自然環境】</p> <p>●準絶滅危惧種タコノアシなどの湿地特有の植物が、自然ゾーンにあることを発見した。タコノアシの発見は16年ぶり。</p> <p>●魚とり、昆虫、植物観察のイベントを16回(209名参加)行えた。</p> <p>②「homeライン【風土性】</p> <p>●石川流域の「地域とつながり・成長する」協議会による情報誌「かわらばん」を2回発行し、地域の活性化へ寄与することができた。</p> <p>③「enjoyライン【楽しめる】</p> <p>●パークゴルフ場の売上が3年連続で、増加。管理・運営を検討し、地元パークゴルフ協会の立上げに協力したことが、売上増につながった。(2017年 340万 2018年 380万 2019年 440万 2020年 予想560万※収益事業と補填金含む)</p> <p>【自己評価】</p> <p>●タコノアシの発見を、新たなトピックスとして自然ゾーンの活用につなげることができた。</p> <p>●パークゴルフの売上増は、2017年以前の5年間で減少傾向にあったことを考えると、より「楽しめる」場を提供できたと言える。</p>	A	府営公園管理要領、管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	施設所管課評価は適正である。 羽曳野市とのパークゴルフ協会立上げの協力等、地域との活動は評価できる。 管理事務所に併設されている入り口の空間は現在も魚の展示などが行われており興味深いのが、より有効な活用が求められる。
(2)平等な利用を図るための具体的手法・効果	平等利用に努めたか。	府営公園管理要領、管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	府営公園管理要領、管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	施設所管課評価は適正である。
(3)利用者の増加を図るための具体的手法・効果	公園利用者の利便性の向上がなされたか(応募時に提案した利用者増加のための工夫がなされたか、魅力的なプログラムに取り組んだか。スポーツ施設等の稼働状況を踏まえた、今後の運営への反映に取り組まれているか。)	<p>【実績】</p> <p>◎来園者数</p> <p>●4月~11月で13万4057人。</p> <p>◎その他</p> <p>●例年行っている魚とりの観察会をイベントの実施が可能になった6月以降実施。7回で126名の参加があった。</p> <p>●地元羽曳野市パークゴルフ協会の立上げに協力。それにより、推薦を得て、指導員1名とアドバイザー3名の資格を取得できた。利用者への分かり易い説明ができるようになった。</p> <p>●パークゴルフの売り上げは2012年をピークに減少傾向にあったが、指定管理者が変わった2018年より3年続けて増加傾向。緊急事態宣言による営業休止期間があったにもかかわらず、今年度は増加している。</p> <p>【自己評価】</p> <p>●魚とりなどのイベントは、6月以降は、感染防止対策を取ったうえで、積極的に実施ができた。評価したい。</p> <p>●パークゴルフ場の運営については、管理方法の見直しや、フリーキャンペーンなどの実施、協会の立上げに協力したことで、売り上げが3年連続で上昇している。ただ、河川のため制約も多く、他のパークゴルフ場に比べてると、施設、設備などで劣っている。利用者の評価も、好意的なものばかりではないが、努力を続けたい。</p>	A	府営公園管理要領、管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	施設所管課評価は適正である。 長野公園との共同でのイベント開催などをより強調してもいいのではないかと考える。
	収益事業の実施状況(応募時に提案した収益事業に取り組んでいるか、また、その実施状況について確認)。	府営公園管理要領、管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	府営公園管理要領、管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	施設所管課評価は適正である。
	トラブルの未然防止や、発生した際の処理方針、今後の管理への反映がなされたか(接遇等の職員研修の実施状況、苦情件数や対応処置の記録についての確認)。	<p>【実績】</p> <p>◎トラブル(事故・事件等)や苦情が発生した場合の処理</p> <p>●公園の利用方法や除草、コロナ下でのBBQについてなど様々な苦情、要望が寄せられたが、丁寧かつ迅速に対応できた。</p> <p>●玉手橋右岸のサッカー利用について、堤防から30mの範囲で利用方法を分けるというルールを作成し、近隣住民、利用者、警察へ説明を行った。</p> <p>●除草について、8月初旬に苦情が利用者からあった。7月は、雨が多く草の伸びも早かったということもあるが、迅速に対応できた。</p> <p>●接遇研修については、年度末までに行う予定です。</p> <p>【自己評価】</p> <p>●苦情については、突発的なものから、過去からの状況の変化に起因するものなど、様々なタイプのものがあるが、苦情を受け止めて、丁寧に話を聞き、優先順位をつけて対応することができた。</p>	A	府営公園管理要領、管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	施設所管課評価は適正である。 サッカー利用に対する利用指導についての配慮は高く評価できる。

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【石川河川公園】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
(4)施設の維持管理の内容、 適格性及び実現の程度	草地管理、芝生地管理、樹木管理、花壇管理について、良好な管理を行ったか(頻度・時期及び技術について確認。将来も含めた植物の育成が図られているかの確認。利用や景観への配慮がなされているかの確認。)	<p>【実績】</p> <p>1.草地管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ●エリア別に予定の進捗で除草しております。 ●自然ゾーンについては、「石川河川公園希少生物保護管理マニュアル」に沿って管理を行っています。自然ゾーンAで、6月と8月にカヤネズミ保護の為に、オギ草地を残しての除草を行いました。 <p>2.樹木管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ●南大阪中心に被害が拡大しているクビアカツヤカミキリについて、駒ヶ谷地区の135本の内31本と西行うたのみちを象徴する1本のソメイヨシノについて、薬剤(ウッドスター)の注入を行い、防除と予防策を行った。 ●公園利用者からの要望があり、サイクルロード沿いで、見通しの悪くなっている低木を高さ50cmほどに台落としを行った。 <p>3.草花管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ●チガヤの苗の植付を3月に行った。野趣あふれる花壇の創出を目指した。 <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●駒ヶ谷地区のソメイヨシノの景観を残すために、薬剤注入を行ったのは、評価したい。 ●公園利用者からの意見を受け、見通しを良くする剪定を行った。意見を取り入れ、迅速に対応し、良い評価を得た。 	A	府営公園管理要領、管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	施設所管課評価は適正である。 花壇の維持管理が難しい点については、府からの指導のみに頼らず、コンセプトの変更なども視野に入れた計画の再考が求められる。
	園内清掃について、良好な管理を行ったか(頻度・時期及び技術について確認。利用や美観への配慮がなされているかの確認。)	府営公園管理要領、管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	府営公園管理要領、管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	施設所管課評価は適正である。
	プールの運営、維持管理について、良好な管理を行ったか。					
	運動施設について、良好な管理を行ったか(頻度および技術について確認。)	府営公園管理要領、管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	府営公園管理要領、管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	施設所管課評価は適正である。
	特殊庭園について、良好な管理を行ったか。(頻度・時期及び技術について確認。将来も含めた植物の育成が図られているかの確認。)					
	重要公園施設について、良好な管理・運営を行ったか。					
	管理対象外施設である海岸管理者との連携や海岸利用者について応募時の提案を実施できたか。					
	自然環境の維持創出、自然環境学習の取組について応募時の提案を実施できたか。	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自然ゾーン活用のため植物調査を毎月実施。メンバーは、指定管理者と自然ゾーンコーディネーターと大学教授の3人。自然ゾーンBの人工ワンドの一部が、湿地になっており16年ぶりに石川で発見された準絶滅危惧種のタコノアシだけでなく、ゴキツル、アキノウナギツカミなど湿地特有の植物の生育場所があることがわかった。 ●「雨降る大地の保全ネットワーク(羽曳野市、太子町、河南町のボランティア団体4団体で構成)」と「府営長野公園」と共同で、自然体験企画「石川流域生きものキッズ」を実施。小学校3年生から6年生まで15名を会員にして、6月以降、7回実施した。 ●自然ゾーンBでの活用を目指して、「自然ゾーンセルフガイドプログラム」を計画。車での利用が可能になり、自然により親しめる制度を作った。 ●実施予定だった出前授業は、コロナの影響で予定していた学校から中止の連絡があるなど、1件も実施できなかった。 <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ワンドの湿地植物や希少種などを、発見できた。今後は子供たちへの自然環境教育に活用していきたい。 ●生きものキッズを実施でき、自然環境学習の新たな取り組みを行えたことは評価したい。 	A	府営公園管理要領、管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。 ただし、出前授業の取組については、緊急事態宣言の発令に伴い、一部、実施されていない。	A	施設所管課評価は適正である。 自然ゾーンへの客の誘致が行われていることは高く評価できるが、より一層のPRが必要である。 長野公園との共同でのイベント開催などをより強調してもいいのではないかと考える。
	利用者の安全確保対策の具体的方策(日常巡視や定期点検、瑕疵の早期発見、事故の未然防止及び早期対応、衛生管理や防犯対策などが適格に実施できたか。適正なタイミング・手法の補修が実施されたか。予防保全となる対応について確認。)	府営公園管理要領、管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	府営公園管理要領、管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	施設所管課評価は適正である。
危機管理体制(非常時対応について、訓練や研修を実施したか。)	府営公園管理要領、管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	府営公園管理要領、管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	施設所管課評価は適正である。	

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【石川河川公園】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
(5) 府政策との整合	応募時の提案を実施できたか。	府営公園管理要領、管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	府営公園管理要領、管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	施設所管課評価は適正である。
	新型コロナウイルス感染症に対する対応を適切に実施できたか(感染拡大防止に向けた対策の実施、府民への周知が適切なタイミング・手法で実施されたか)。	国や各種業界団体が示す感染拡大防止ガイドラインに沿い、感染拡大防止に向けた対応を適切に実施した。	A	国や各種業界団体が示す感染拡大防止ガイドラインに沿い、感染拡大防止に向けた対応を適切に実施した。	A	施設所管課評価は適正である。
II さらなるサービスの向上に関する事項						
(1) 利用者満足度調査等	アンケート結果はどうであったか。これを受けてより満足度を向上させるために、どのように取り組むか。	<p>【実績】</p> <p>計400部を回収済み。全体的な満足度は、満足44%、やや満足44%であった。 満足度が低かったなど、特筆すべき事項は以下の通り。 <売店などサービス施設> “満足” 13% “やや満足” 20% “やや不満” 17% “不満” 14% “わからない” 33%</p> <p><新たに欲しい施設は？> “コンビニ”32% “カフェ”22% その他は少ないので省略</p> <p><イベントの種類や数> “満足” 19% “やや満足” 27% “やや不満” 10% “不満” 4% “わからない” 40%</p> <p><あったらよいイベントは？> “魚とり観察会”14% “植物観察会”13% “野鳥観察会”11% “虫取り観察会”9% その他は少ないので省略</p> <p>【自己評価】</p> <p>●キッチンカーを駒ヶ谷で、試行的に実施したことは評価できる。来年度も繁忙期には、キッチンカーを呼んで、満足度の向上に努めたい。 ●アンケートで多かった“魚とり観察会”は既に多く実施している。“植物観察会”を来期は、実施したい。</p>	A	○公園の全体的な満足度は1.3でやや良いを上回っていた。 ○総合的評価では、「満足」と「やや満足」の合計が8割を上回っていた。	A	総合的な満足度は概ね良好であり、適切な維持管理が行われている。
	前年度のアンケート結果に対して、より満足度を向上させるために、どのような取組を行ったか。	<p>【実績】</p> <p>●売店などのサービス施設への不満から、今年度は販売品目の充実を目指し、キッチンカーとパークゴルフの用品販売を行った。 ●イベントを増やすことを対応方針としていた。自然体験プログラムの“石川流域生きものキッズ”を行い、新たなイベントを行うことができた。 6/7 カタツムリを見つけよう 6/28 アユを投網で捕まえよう 9/20 夜の川でモズガニを捕まえてみよう</p> <p>【自己評価】</p> <p>●新たにパークゴルフの用品販売を行い、販売品目を増やしたことは評価できる。 ●コロナ下の中で、新しい企画を行い、子ども達が自然に触れ合える体験を提供できた。</p>	A	当該年度の事業実施計画書に示した事項をすべて実施。かつ、応募時の提案を満足する。 ○売店サービスの向上のため、キッチンカーでの飲食物販売やパークゴルフ用品販売を実施した。 ○自然体験イベントを充実させた。	A	前年度のアンケート意見に対し、満足度向上のため適切に取り組みを実施している。
	(2) その他創意工夫	提案した事項以外に行った業務があるか。	<p>【実績】</p> <p>●ボランティアの覚書を結んでいる「雨ふる大地の水辺保全ネットワーク」の石川河川公園での活動が「公園夢・プラン大賞2020」の優秀賞を受賞しました。公園内にとどまらず、地域全体(石川流域全体)を巻き込み、地域の自然の魅力を発信する次の担い手を育てるという夢を実現していると評価されました。 ●11/1シンクロクロス大会(750名)11/15 信貴山サイクルロゲイニング(184名)の2つの自転車の大会に協力しました。 ●SUPの体験会を初めて石川で実施できた(参加者8名)。 ●園内に川の中の魚や昆虫などの情報を掲示して、利用者への情報提供を行った。QRコードでボランティア団体が運営するWeb図鑑につながる。 【自己評価】</p> <p>●公園でのボランティア団体の活動が、石川流域の自然の魅力を発信する次の担い手を育てる一助になったことは、評価できる。 ●自転車のイベントを行うことで、近畿一円から利用者を呼ぶことができ、サイクルロードの存在もアピールできた。 ●SUPは、石川の新しいアクティビティとしての発展が期待できる。 ●Web図鑑につながるという新しい形の情報提供を行うことができた。</p>	A	当該年度の事業実施計画書に示した事項をすべて実施。かつ、応募時の提案を満足する。 ○新たなアクティビティであるSUPを行い、公園の新たな楽しみ方を提供した。 ○QRコードを利用した、新たな情報発信を行った。	A

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【石川河川公園】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
Ⅲ 適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する項目						
(1) 収支計画の内容、適格性及び実現の程度	収支は予定どおりか。支出超過、収入不足となっていないか。支出計画に沿った支出配分がなされているか。	【実績】 現状、収支は昨年と大差ない。予定通りの収支である。 【自己評価】 ●支出計画に沿った支出配分ができています。	A	○求められる管理水準を維持しながら、計画的な予算執行に努めている。	A	適切な予算執行である。
(2) 安定的な運営が可能となる人的能力	管理体制表及び職員配置計画(応募時に示した管理体制を構築したか。)	【実績】 ●一級造園施工管理技士2名、一級造園技能士1名、公園管理運営士1名、ピオトープ管理士1名、危険物取扱者乙種4類1名を配置した。 ●電気主任技術者については、(一財)関西電気保安協会に外注し、点検並びに維持を行った。 【自己評価】 ●適切に資格者を配置している。	A	当該年度の事業実施計画書に示した事項をすべて実施。かつ、応募時の提案を満足する。 ○「常時配置すべき職員の最低限のポスト数」以上の管理体制で、適切に職員配置している。	A	
	必置技術者等の配置(技術者を配置したか。)	【実績】 ●一級造園施工管理技士2名、一級造園技能士1名、公園管理運営士1名、ピオトープ管理士1名、危険物取扱者乙種4類1名を配置した。 ●電気主任技術者については、(一財)関西電気保安協会に外注し、点検並びに維持を行った。 【自己評価】 ●適切に資格者を配置している。	A	当該年度の事業実施計画書に示した事項をすべて実施。かつ、応募時の提案を満足する。 ○必置技術者は適正に配置されている。	A	
	労働災害等未然防止のための管理運営(外注・下請を含む職員の労働災害や維持管理業務に起因する来園者事故など公衆災害の発生はなかったか。また、従業員への安全教育・訓練の実施状況について確認。)	【実績】 ●事故事例について、朝礼・終礼で情報を共有。事故の可能性のある場所にグレーチングを設置して未然に防ぐ対策を行った。また、事故の起こりやすい場所や、毒毛虫が発生する場所については、注意を促した。 【自己評価】 ●職員の労働災害、来園者への公衆災害はなく、良好に管理できた。	A	当該年度の事業実施計画書に示した事項をすべて実施。かつ、応募時の提案を満足する。 ○維持管理作業に起因した労働災害、公衆災害の発生はなかった。 ○日々の安全教育について実施されていた。	A	適切に管理運営が行われている。
(3) 安定的な運営が可能となる財政的基盤	法人等の経営状況(経営状況に問題は無いのか。指定管理業務の継続に影響を与えないか。)	【実績】 ●提案のとおり 【自己評価】 ●経営状態に大きな変化はなく問題はない。	A	構成するグループに借入入れの依存度が高い法人がある。	B	直近3期に連続して借入依存度が高い構成団体に注視する必要がある。